



ひよこぐみだより

応其こども園
2025.1.31

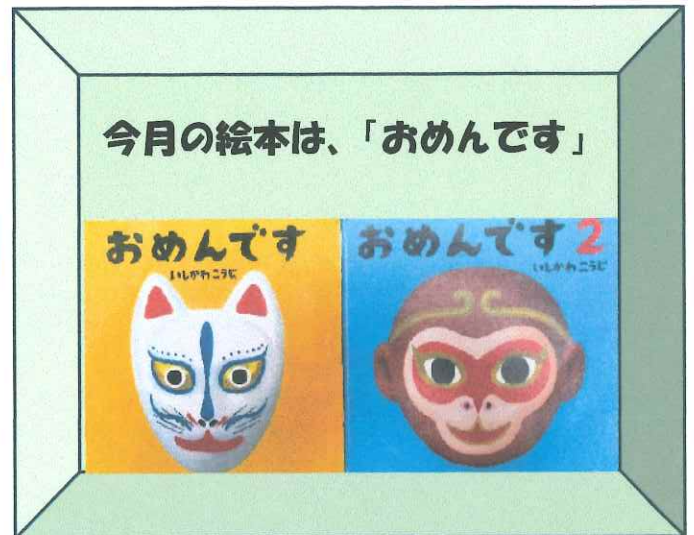
寒い日々が続く中、外遊びを楽しみにしている子どもたち。冷たい風に白い息を吐き、小さな体で季節を感じながら、元気いっぱいです。先日、この冬初めて雪が積もり、朝起きてびっくりしましたが、子どもたちと雪遊びができました。お部屋の中では、バケツに雪を入れて小さな雪だるまを作ると、子どもたちはそっと触っていました。お外に出ると、園庭は真っ白。ひよこ組さんたちは、玄関の塀の上に積もった雪を丸めて手渡すと、すぐに投げる子や、あまりの冷たさに雪を落としてしまう子も。雪だるまを作って置いていると、ツツツして触ったり、畑に座り込んで雪の感触を感じている子もいました。冬ならではの楽しみができて、大喜びの日でした。



製作

節分の製作で、お面を作っています。

豆まきをする前に、新聞紙を小さくちぎって、豆を作りました。以前に新聞遊びをしていたので、ちぎるのも上手で、パラパラと新聞を散らして遊んでから、丸めるのを手伝ってくれました。お面は、目や口、そして手足を付けています。子どもたちのかわいいお面、節分の日に豆まきをしてから、持って帰りますので、お家でも豆まきを楽しんでくださいね。



～子どものわくわくに応える仕掛け絵本～

子どもたちに「おめんをかぶっているのはだあれ？」と聞くと、じーっと見ながら現れる動物を楽しみに見せてくれています。目のところが空いているので、のぞいてみたくなるようです。隠れている動物のいいところが書いているのが面白いです。仕掛け絵本には、「子どもたちの知ってるよ！」「わかるもん！」に応えてくれるものがたくさん。仕掛けがシンプルで、めくるのが大好きな子どもたち。さあ、何がでてくるかな？子どもたちが不思議に感じたり、ちょっと触ってみたいくなるような仕掛け絵本を楽しんでいます。



新しい年を迎え、ひよこ組もあと二か月となりました。子どもたちは、日に日に成長した姿を見せてくれています。今後も、新しい発見が楽しみです。戸外から帰ったらジャンパー・靴下・帽子を脱ぐと、自然に手洗いに向かってくれるようになりました。「お茶を飲もうね。」と声掛けをすると、座って待ってくれる姿も見られ、自分でコップを持ち、飲んでます。空気も乾燥している季節なので、水分補給をしっかり続けて、感染症など身体の変化に気を付け、元気に過ごしたいと思います。